

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	アルプス公園・松本市アルプスドリームコースター		所管課 外線番号	公園緑地課 0263-34-3254	
所在地	松本市大字蟻ヶ崎2 4 5 5 番 1 1		設置年月	アルプス公園 昭和49年3月 ドリームコースター 昭和62年4月	
施設設置目的	自然を活かし、子供から高齢者まで多くの人々が親しむ場として、市民の福祉増進と余暇活動の向上に寄与する。				
施設概要・設備	1 アルプス公園 全体面積:71.1ha 施設:休憩所、古民家体験学習施設、広場、遊具等 2 ドリームコースター 全体延長:995m(滑降630m、登坂365m) 施設:管理棟、レール登坂装置等				
指定管理者名(選定方式)	株式会社TOYBOX (公募)				
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日				
指定管理者の 主な業務	1 アルプス公園 施設及び設備の維持管理、自主事業の企画及び実施 2 ドリームコースター 利用の案内及び安全管理、利用の許可、利用料金の徴収、 施設及び設備の維持管理、自主事業の企画及び実施				
利用料金制の導入	あり 利用料金制委託料併用方式				
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)
	ドリームコースター利用料	19,250,000円	18,238,430円	94.7%	93.9%
	公園年間利用者	無料施設のため予測不可			
	(特記事項)				

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				
	収入 (歳入)	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		コースター利用料	19,250,000	コースター利用料	18,238,430	公園使用料	5,926,355	公園使用料	6,103,564
		指定管理料	38,350,000	指定管理料	40,290,000	公園占用料	1,287,920	公園占用料	1,578,130
		委託料	2,340,000	委託料	2,340,000				
			自主事業収入	2,271,820					
			雑収入	315,809					
	計	59,940,000	計	63,456,059	計	7,214,275	計	7,681,694	
	支出 (歳出)	維持管理費	32,563,000	人件費	34,360,085	指定管理料	40,290,000	指定管理料	39,900,000
一般管理費		27,377,000	事業費	2,373,472					
			【内訳】						
			・業務委託費・修繕費						
			事業費	23,719,095					
		【内訳】							
		・光熱水費・消耗品費							
		・通信運搬費・使用料							
		・手数料・需用費							
		・公課費							
		自主事業経費	1,963,178						
計	59,940,000	計	62,415,830	計	40,290,000	計	39,900,000		
損益	0		1,040,229		差引	-33,075,725	差引	-32,218,306	
(特記事項)									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評 価 の 基 準		
A	（1. 0）	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	（0. 7）	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	（0. 5）	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	（0. 0）	不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
65.7

大項目	中項目	評 価 項 目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	公平性が確保されており、アンケートからも問題は見られない。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件モニタリングチェック項目を確認したところ、業務従事者の適正な労働条件は確保されている。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	関係機関への連絡及び事故状況の把握、記録、市への連絡と報告書の作成まで、一連で緊急連絡網が作成されており、問題はない。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	施設内に潜在するリスクの洗い出しを行い、利用者の事故を防止するための対策（点検チェックシート作成等）が講じられている。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	個人情報保護方針を定め、ホームページ等により周知しており、問題はない。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	経理担当が本施設専用の会計帳簿により、経理の管理をしており、情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	財務モニタリングチェック項目により分析した結果、一部改善点はあるものの共同企業体を形成する4社とも経営状況に大きな問題となる点はない。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	市内周辺の事業所において、サポート・バックアップを常に行える体制が確立されている。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	報告書類も適切に作成され、緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	勤務表及び日報で確認したところ、人員配置、シフト体制、勤務時間ともに問題なく、管理運営上は適切である。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	所長、副所長、管理スタッフは、施設の管理運営、維持管理作業の経験者であり、各施設において指揮系統、責任権限も明確になっている。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	働き方改革にそぐわないような、恒常的な長時間労働等は行われていない。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	事業計画に基づき、接客研修、安全講習を計画的に行っており、アンケート調査での市民からの意見は良好である。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	専用の会計帳簿により適切に利用料金の収受、管理経費の収支をスタッフ3名で管理しており、問題は見られない。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	清掃、警備、機械保守点検業務等の管理業務の一部について、第三者との当該契約に係る契約書等を確認した結果、適切に実施されている。
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告書及び事業報告も適切に作成され、期限までに提出されており、問題はない。
	安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	緊急時の対策として安全講習が行われており、緊急時対応が業務従事者に徹底されていることから、問題はない。
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲についての的確に把握されていることから、問題はない。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	利用者ニーズに対応した工夫が見られ、事業計画書に基づき適切に事業が実施されており、問題はない。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	協力団体と連携を取りながら、積極的な奉仕活動を継続して実施している。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	A	S N Sを活用した情報発信を積極的に行うなど、施設の利用促進のための取り組みや効果は高く評価できる。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	飲食の移動販売、夏休み期間の各種イベントの開催など、利用者サービスを目的とした自主事業や企画が多く実施されており、高く評価できる。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	事業計画に基づき、接遇・接客研修が行われており、障害者、子ども、高齢者に対し配慮した対応ができています。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	利用者ニーズを把握するためアンケート調査を月ごとに実施し、業務改善を図っていることや迅速な苦情対応が評価できる。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	報告書から日常的なセルフモニタリングや自己評価がおこなわれていることが確認でき、問題はない。
	環境への配慮	28 施設運営における環境負荷の低減に向けた具体的な目標を定め、認定取得等、その達成に向けた取組みが講じられているか	2	B	電気、ガス・灯油、ガソリン等の資源・エネルギー使用量削減に向け、具体的な取り組みや工夫を積極的に行っている。
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	業務フローの見直し・改善に取り組み、経費節減や業務効率化につながったことは評価できる。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	事業計画書どおり事業を実施しているが、人件費や光熱費の高騰などにより支出が増えている。

3 利用者による評価
(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	通年
	調査対象	アルプス公園来園者
	調査方法	アンケート用紙とQRコードでの回答(アルプス公園217組)
調査結果	別紙参照	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙参照	

4 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価	○経年劣化により視認性が低下していたアルプス展望解説板を新しく作り直し、北アルプスを見に來られた利用者のサービス向上を図った。 ○点検により破損が発見された遊具は速やかに修繕した。また、遊具の使用方法を明示し、安全に遊具を利用できるように努めた。 ○遊具とドリームコースターでの事故の発生を受け、担当課と打合せを密に行い、再発防止を含めた安全対策を実施した。
要望・苦情への 対応状況	○ドリームコースターの上りコースにて、土砂の流入による運行への影響を防ぐため、土留め工事を実施した。 ○いきものふれあいの森では、自然活用委員会と協力し、森の里広場にフジバカマやヒマワリ、コスモス等を植え、畑の活用を進めた。
今後の目標	○木造遊具・遊具支柱の劣化や腐食、ドリームコースターのコースの陥没・歪みが進んできている。点検の強化や応急の修繕を進め、担当課とも協議を重ね、改修を行っていきたい。 ○施設への落書き等が発生したため、巡回の内容を強化した。また、迅速に、応急的な修繕等の対応を実施し、引き続き利用者が不便にならないようにしたい。 ○物価高騰により、経費が増加している。今後も、可能な範囲で経費の見直しを進める。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】
貸し出しレジャー用品の内容を今までよりも充実させる試みを行っており、手ぶらで訪れた来園者でも楽しめるよう工夫されている他、利用者の増加に寄与しており評価できる。また、近隣の保育園児が作った鯉のぼり、クリスマスの飾りつけや地域住民とのゴミ拾い等の新たな事業を継続的かつ積極的に行っている点も評価できる。

【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】
なし

【総合的な評価】
利用者からの苦情等もほとんどなく、アンケートの結果からも利用者の満足度が高いことがうかがえる。

自主事業においてはボランティアの参加者を募ってゴミ拾いを行うなど、市民協働と地域連携に関する取り組みを積極的に行っている点は非常に評価できる。人件費や光熱費の高騰により支出が増加したため収支の改善が課題であるが、全体としても概ね良好な管理がなされている。

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
72.7

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適正

【別紙】
3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	通年
	調査対象	アルプス公園来園者
	調査方法	アンケート用紙とQRコードでの回答(アルプス公園217組)
調査結果	○お住まいは？ 長野県外：39% 松本市内：29% 長野県内：20% ○利用状況は？ 年に数回：55% 初めて：30% 月1～3回：13% 週1～3回：1% ○目的は？ 子どもの遊び場：28% ドリームコースター：27% 小鳥と小動物の森：8% 散歩：6% ピクニック：5% 自然観察：5% ウォーキング：4% ○どなたと？ 家族：75% 友人・知人：18% 団体：3% 1人：3% その他：1% ○滞在時間は？ 1～3時間以内：70% 4～5時間以内：17% 1時間以内：8% ○きっかけは？ 景色がいい：17% 広々している：14% 1日中遊べる：14% 無料だから：13% 安心して遊べる：12% 家族に誘われた：10% 友人・知人に誘われた：6% ○ドリームコースター 満足：75% やや満足：16% やや不満：2% 不満：2% ○小鳥と小動物の森 満足：53% やや満足：15% やや不満：4% 不満：1% ○欲しい遊具は？ スイング遊具：21% シーソー：17% ブランコ：14% すべり台：11%	
利用者からの意見 要望・苦情等	○マレットのコースもっと詳しくして。 ○バスを土日祝増やして。 ○ウォシュレットにして。 ○園内広いので自転車等あれば。 ○安心して遊べる公園。 ○スタッフ暑い中頑張っていてすごい。 ○蝶やトンボが見れてよい ○きれいに管理されている ○お店があれば。 ○池にもう少し水を入れ生物や植物のいる池に。 ○ドリームコースターの全体を長くしてほしい。 ○休憩所が休憩できないほど寒いです。駐車場も遠いですし、有料でも良いので暖かくしていただけるとありがたいです。 ○とても楽しくてよい公園だと思いました。また行きたいです。	